

「日々の理科」(第 4425 号) 2026, -9, 21

「秋の北極圏旅行記 (7)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



午後は、イエリバーレ郊外の広大な森を所有する方の山小屋にお邪魔しました。あれ？何か赤い人が？



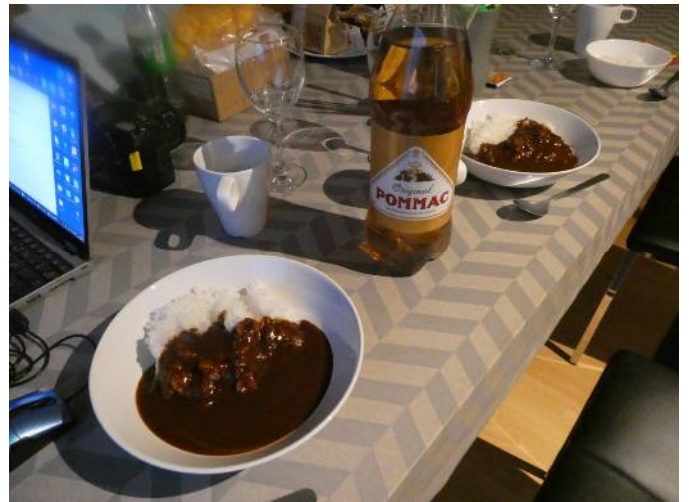
サンタさん登場！それも正式な資格を持った正真正銘のホンモノのサンタ！何と御年93歳！



森の中の小屋です。窓の外は針葉樹の森！



小屋には電気も水道も来ていませんが、ケーキと薪で淹れたコーヒーを出してくださいました。サンタさんとも話せて、実に楽しい時間でした。



今回はコテージ滞在なので、ほぼ自炊です。今夜のメニューはカレーライス。お米は日本から持参し、コテージのお鍋で炊きます。お米をといだあと、サラダ油を少し入れて炊くと、お米が底につきません。



夕暮れの宿舎前です。線路を挟んで湖が見えます。

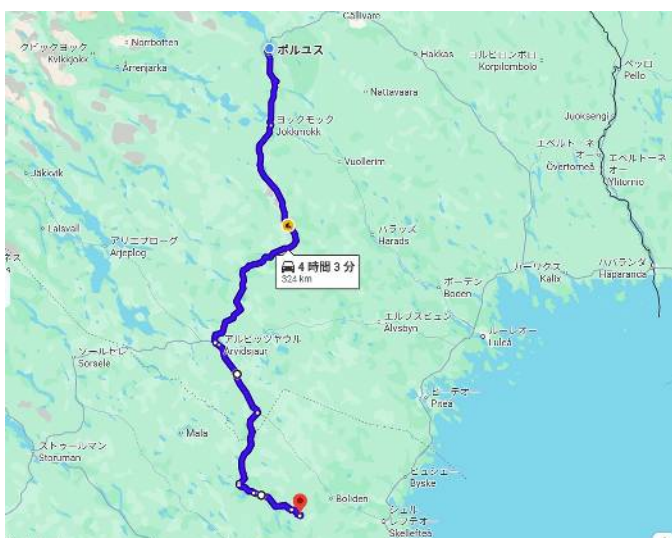
この湖にオーロラが反映するのを見たいのです。



宿舎前の線路は、南の街、ヨックモック、モスコセル、アルビズヤウルなどに続いています。今の時期、旅客列車は全く通りません。



翌日は長距離ドライブでした。南の街「バストウトレスク」に住む友人夫妻を訪ねるのが目的です。



宿泊地から目的地までは、片道 300km 以上、休まずに走り続けても 4 時間以上かかります。友人と運

転を交代しながら、ひたすら南に向けて走りました。



時々出会うのがトナカイの群れです。最初はいちいち停まって観察したり写真を撮っていましたが、あまり頻繁に出会うので、後半は基本通過でした。



天然のトナカイのように見えますが、実はほぼすべて飼い主が決まっています。事故を起こすと、持ち主に連絡し、賠償が発生します・・・ので要注意！



モスコセルという村の手前で「トイレ休憩」このトイレがちょっと大変なものでした！それは次回に。